指定管理業務点検・評価シート（令和6年度業務）

令和7年7月31日

施設名	鳥取県立船上山少年自然の家	所在地	東伯郡琴浦町山川807-2
施設所管課名	社会教育課	連絡先	0858-55-7111
指定管理者名	TKSS・富士総合警備保障共同企業体	指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

1 施設の概要

設置目的	自然に親しませ、自然の中での集団宿泊訓練を通じて少年の健全な育成を図る
設置年月日	昭和52年7月1日
施設内容	○敷地面積：27,911.00㎡ ○建築面積(延)：3,667.93㎡ ○施設内容：屋内施設（レクリエーションホール、研修室、食堂、浴室、体育館、宿泊室） 屋外施設（キャンプ場、野外炊事場、集いの広場、カヌー倉庫）
利用料金	学生以下…無料、一般…宿泊（一人一泊につき）920円・日帰り（一人一日につき）460円
休館日	月曜日、国民の祝日（その日が土、日曜日の場合は開所）、年末年始（1月1日～1月3日、12月29日～12月31日）

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務 ・施設設備の保守管理及び修繕 ・施設の保安警備、清掃等 ○施設の管理運営に関する業務 ・適正な管理に必要な利用者への措置命令及び施設からの退去命令 ・使用料の徴収 ・使用料の減免 ・管理施設の利用受付及び案内 ・施設の利用促進 ○その他管理施設の運営に関する業務 ・利用者の受入 ・主催事業実施補助
---------	---

3 施設の管理体制

	正職員（常勤職員）： 1人、非常勤職員：3人　〔計4人〕
管理体制	庶務部長（正職員1） ─── 事務員（非常勤職員1） ├── ボイラー技師（非常勤職員1） └── 技術指導支援員（非常勤職員1）

4 施設の利用状況

利用者数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度	1,657	2,327	2,277	1,992	929	1,810	1,828	1,976	828	299	468	585
5年度	902	1,207	2,624	1,773	1,136	2,689	1,793	1,231	1,111	352	514	527	15,859
増減	755	1,120	▲347	219	▲207	▲879	35	745	▲283	▲53	▲46	58	1,117

利用料金収入（千円）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	6年度	76	251	349	388	314	209	198	136	119	29	29	68
5年度	76	167	308	162	135	275	230	109	83	14	33	46	1,638
増減	0	84	41	226	179	▲66	▲32	27	36	15	▲4	22	528

5 収支の状況

区 分		6年度	5年度	増 減	
収入	事業収入	シーツ料	1,041	884	157
		体験活動費	1,125	754	371
		指定管理料	51,028	41,539	9,489
		小 計	53,194	43,177	10,017
	事業外収入	雑収入	653	871	▲ 218
		小 計	653	871	▲ 218
計		53,847	44,048	9,799	
支出	人 件 費	13,177	11,581	1,596	
	管理運営費	35,872	28,759	7,113	
	事 業 費	2,427	1,818	609	
	計	51,476	42,158	9,318	
収 支 差 額		2,371	1,890		

6 労働条件等

確認項目	状況			備考
	正職員	非常勤職員	臨時職員	
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則	就業規則 労働条件通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	※常時10人以上の労働者を使用する場合は作成、届出が必要
	労使協定の締結状況	有	有	※労働基準監督署長への届出が必要な協定の有無
労働時間	所定労働時間	7時間45分/日	・7時間45分/日 ・週29時間	※幅がある場合は上限、下限を記入
	時間管理の手法	自己申告及び使用者の現認	自己申告及び使用者の現認	※タイムカード、ICカード、自己申告、使用者の現認などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：20日 休日：月ごとの勤務条件編成表による（週2日）	休暇：10日、11日 休日：月ごとの勤務条件編成表による（週2日）	※幅がある場合は上限、下限を記入
給与	給与金額（各種手当・賞与を除く）		1,220円～1,250円/時	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	※適否を記入
	処遇改善計画との比較	102%	98%	※達成率を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施		
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：なし	※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし	※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：なし	※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：要	選任状況：部長職の者を選任	※業種・規模の要件あり

（参考）

- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法（昭和22年法律第49号）に基づくもの）
- ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区分	取組み内容
環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 玄関に花のプランターや集いの広場法面に花壇を整備したり、樹木の剪定を行い、環境整備を徹底し利用者のホスピタリティ向上に努めた。 ・ 毎月、敷地内の環境整備点検を実施しており、ちょっとした視点の変化を作り出したり、立木の状況を確認し、枯死等により施設や利用者の活動に危険を及ぼしかねない樹木は、指定管理者が自前で伐採するなどして常に安全確保に努めている。
体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野外炊飯、ピザなど体験活動において、準備、片付けやカヌー活動の監視などの補助を行い、活動の安全を手助けしている。 ・ 利用団体の風呂、シャワー時間に合わせ、勤務シフトを柔軟に変更し、常に利用者の利便性を担保できるよう勤務体制をとっている。
利用サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の支払い方法に現金払いだけでなく、請求書払いも継続実施し、利用者の利便性に対応している。 ・ 利用者へのお礼ハガキを継続実施し、施設利用のリポートにつなげている。 ・ 飲料業者が販売不振を理由に3月に撤退したが、利用者の利便性を考え、新たな事業者を募集し、自販機を再設置した。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者アンケートの実施
------------	-------------

利用者からの苦情・要望	対応状況
プロジェクターでパワーポイントなどを使った説明が図や写真が見えにくかった。	高輝度のプロジェクターを県費で令和7年度に購入予定。
利用申し込みで書類の提出を電子申請サービスではなく、メールでのやり取りできるとありがたい。	検討中

利用者からの積極的な評価						
利用者アンケートの結果						
区分	評価	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
職員の対応	とても満足・少し満足	99.6%	99.5%	99.4%	99.3%	100%
	やや不満・とても不満	0.4%	0.5%	0.6%	0.7%	0%
利用満足度	とても満足・少し満足	99.6%	99.5%	100%	100%	100%
	やや不満・とても不満	0.4%	0.5%	0%	0%	0%

9 指定管理者による自己点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況	☒
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況	☒

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備の充実 （施設内の清掃、敷地内の草刈り、広場の芝刈り、花のプランター・法面の花壇整備。造園業の勤務経験を有す職員が技能を活かし、施設周辺の植栽の剪定を実施し、美観を保持。） ・ 発案した「琴浦町満喫キッズキャンプ」では、船上山だけではなく琴浦町海・山・川をフィールドに、地域の自然・文化を体験できる企画（令和6年度は、大山乳業農業協同組合の見学、特産のあごカツバーガーの実食、谷川探検、サーフィン（サップ）体験など）を用意したところ、参加者にとっても楽しんでいただけた。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・ 閑散期（11月～3月）の体験活動プログラムを開発していきたい。

10 施設所管課による業務点検

労働関係法令、環境関連法令、建築物の管理に関する法令その他関係法令の遵守状況		☑
協定書（仕様書）、指定管理者募集（又は審査）要項及びその付属資料並びに指定管理者指定申請書の遵守状況		☑
項 目	評 価	点 検 結 果
<p>〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書に定められた保守点検、警備委託等を着実に実施しており、また経費が限られている中で、職員が過去の勤務経験を活かして施設の植栽樹木の剪定を行うなど直営での管理にも努めている。 ・また、毎月、敷地内の環境整備点検を実施し、立木の状況を確認し、枯死等により施設や利用者の活動に危険を及ぼしかねない樹木は、直営で伐採するなどして常に安全確保に努めている。 ・AEDは施設と野外活動持ち出しのため2台保有しているが、電池切れになっていないことを毎日確認している。 ・年1回の救命救急講習、2回の避難訓練を実施しており、また緊急時の対応については、緊急連絡網に従い、適切な指示系統により対応することが定められている。
<p>〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・利用申込受付、減免、利用許可通知の作成、利用状況確定（利用者別に作成された利用当日の利用人数や利用状況（食事、シーツ、薪等）の確定した書類）、収入伺、請求書、現金領収書及び通帳までの一連の流れを抽出検査したが適正に執行されており、また月次で出納状況の検査を行っている。 ・利用料金の徴収、減免手続きは適正に行われており、その実績は業務報告書により毎月所管課に報告されている。
<p>〔その他管理施設の管理に必要な業務〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作 	3	<p>利用の受付・案内、附属設備、備品の貸し出しなど、協定書に沿って適正に管理されている。</p>
<p>〔利用者サービス〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・休館日、施設利用料は条例で定められている。施設利用料は指定管理者が指定公金事務取扱者として県から徴収事務を受託しており、例月の業務報告で収入額を報告するとともに四半期ごとに県が発行する納入通知書により施設利用料を県に納入している。 ・施設の利用促進に当たっては、令和6年度にはじめて合宿地専門冊子に船上山少年自然の家を掲載し、利用が想定される客層へ直接的にPRする取組を実施している。 ・令和7年4月1日付の協定変更時に作成を義務付けた「安全管理措置に係る報告兼届出書」の内容に沿った個人情報の取扱いが令和6年度もなされている。 ・利用者アンケートを実施しており、利用者の利用目的達成度、給食の味や量等に関してニーズ把握を行っている。
<p>〔収入支出の状況〕</p>	3	<p>令和6年度事業計画書（指定管理者指定申請書）と事業報告書の収支の積算については、大きな乖離は見られず、適切な見通しが立てられていた。</p>
<p>〔職員の配置〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適正な職員配置 ○処遇改善計画の達成状況 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に沿って適切な資格や知識、技術を有する者が配置されている。 ・正職員に係る処遇改善は計画を超える実績であったが、非常勤職員の処遇改善については、職員の交代が生じ、給与・手当等の支給金額の変更（減額）が生じたため、実績額が計画額を下回る実績となった。
<p>〔会計事務の状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不適正事案や事故等の有無 ○業務報告書（月次）における内部検査結果 ○利用料金等に係る適正な会計事務（利用券、利用券管理簿の管理など） ○必要な規程類の整備（会計規程、協定書等で整備が定められている規程など） 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務等は適切な処理がなされていることを確認した。 ・月次で金銭の出納状況を本社において確認している。 ・必要な規程や帳簿類が整備されていることを確認した。

<p>〔関係法令の遵守状況〕</p> <p>○関係法令に係る行政指導等の有無等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働関係法令 (労働基準、労働安全、障がい者雇用等) ・環境関連法令 (大気、水質、振動、廃棄物等) ・その他の法令 <p>○県内発注（鳥取県産業振興条例）</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・行政指導や処分を受けた事案はなく、各種法令を適切に順守しているものと認められる。 ・また、県内発注にも努めている。
<p>〔県の施策への協力〕</p> <p>○障がい者就労施設への発注等</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設からは障がい者就労施設への発注の実績はないため、今後は障がい者就労施設への発注が可能な業務は積極的発注に努めていくとのこと。 ・シルバー人材センターからは、役務(草刈り)調達の実績があった。 ・また、施設職員として高齢者雇用を行っている。
<p>総 括</p>	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね協定書の内容どおり適切な管理が行われ、利用者から高評価を継続的に獲得しており、制度の趣旨に沿った成果を挙げている。 ・限られた経費の中、植栽管理の一部を職員が実施し、直営管理にも努めている。

《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、
4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
3：おおむね協定書の内容どおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
1：協定書の内容に対して重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、
※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。